

おだか、いさま

[題字は櫛引すこやかセンター利用者の直筆です]

みんな笑顔ですこやかに 櫛引すこやかセンター満10さい!



* 目次 *

「災害」その時あなたはP 2
夏休みボランティアにチャレンジ ...P 4
情報掲示板P 6

第 12 号

平成 19 年 9 月 15 日

編集・発行

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会

鶴岡市西新斎町 14-26

TEL 24-0053・FAX 23-9110

<http://www.shk01.jp/>

藤島福祉センター TEL 64-3100

羽黒福祉センター TEL 62-4534

櫛引福祉センター TEL 57-5300

朝日福祉センター TEL 53-2795

温海福祉センター TEL 43-3266

開設10周年をケーキカットでお祝い

県内初の老人福祉施設と児童福祉施設の複合施設である「櫛引すこやかセンター」が開設10周年を迎えました。

7月9日には、これを記念して、デイサービス利用者・保育園児等がブルーベリーの記念植樹やケーキカットをしてお祝いしました。

これからも、利用するみなさんがすこやかに過ごせるように、安心して笑顔でふれあうことのできる施設を目指していきます。



地震・風水害

「災害」その時あなたは…

九月一日は「防災の日」です。

近年、全国各地が地震や風水害など様々な災害に見舞われています。市内でも、今年、六月二十六日・二十九日の大雨で土砂崩れや床下浸水、道路冠水などの被害を受けました。過去にも庄内地方では、庄内地震（明治二十七年）や新潟地震（昭和三十九年）で、大きな被害を受けています。相次ぐ被害に、災害に対する意識も高まっているのではないのでしょうか。



地震災害について、鶴岡市市民部市

民生生活課危機管理室の富樫議室長にお話を伺ったところ「県内には四つの断層帯があり、庄内平野東縁断層帯は、今後三十年以内に〇〇六％の確率で地震発生可能性があります。六％というのは、国の指針でも高い方のグループに入ります」



もしもの時、私たちは、また高齢者や障がい者はどうしたらよいのでしょうか。

富樫さんは、「今は防災というより、災害時に少しでも被害を減らす『減災』という視点に立っています。

もしも災害が起きてしまった時、ボランティア・物資などの全国的な支援は徐々に入ってくると思いますが、地域の中で地元住民が、高齢者や赤ちゃんなど弱い人をみんなで助け合うことが大切です。

中越地震などの教訓から課題をあらいだし、日頃から対策をとっておくことが重要だと思います」と話してくださいました。

また、地域の中では、町内会や自治会、集落等を単位として、「自主防災組織」が結成され、防災訓練など災害に備えて様々な取り組みがなされています。

市内の自主防災組織の組織率は、市

全体で九三・〇％と、地域での災害に関する意識の高さが伺えます。

では、地域の中で実際にはどうした取り組みが行われているのでしょうか。

こんな取り組みをしています！

鳥居町北町内会では、街頭の消火器・消火栓、避難場所、対策本部、防災資材保管場所を記した防災マップを作成しています。また、災害時に援護を必要とする



鳥居町北町内会の防災マップ

高齢者や障がい者などの支援のため、五学区社協が取り組んでいる見守り活動対象者をマップに色分けし、緊急時の連絡先と、支援者である福祉協力員の名前が書き込まれています。

第五学区社協の茅野進会長は、「このマップを認知症の方が徘徊したときに活用したことがあります。ゆくゆくは、防災だけでなく福祉マップとして見守りなどにも役立てて、町内での要援護者の支援体制なども整えていきたいと思っています」

この防災マップをもとに、昨年十月一日、同町内会の生活安全部が中心となり、庄内平野東縁断層帯を震源とする地震を想定した机上訓練を行って



災害想像力ゲーム (DIG) を使って机上訓練を行いました。

また、長者町町内会では、災害に備えて、炊き出し用の釜、ヘルメット、バケツ、リヤカー、消火器、救護用品、発電機、照明器具などの防災資機材を備蓄しています。



救護班は三角巾や副木を使って負傷者の手当の練習を行いました。

同町内会では、これらの機材を使用して、今年六月十日に、第二十回目となる防災大演習を行っています。演習では、震度六の地震を想定し、消火訓練、応急手当の練習、炊き出し訓練などを行いました。

三浦悼会長は「世代間の交流の場としても、老人クラブや子供育成会から



災害時の役割を再確認し、支援体制のあり方など活発な意見が交わされました。



給食班が、炊き出し用の釜を使って訓練を行いました。

「積極的な参加を呼びかけています」と、平常時から町内でのつながりを大切にしているそうです。

第四民生児童委員協議会では、研修会を開催し、中越地震の事例をもとに、災害時に何をすべきかを学んでいます。見守り活動などの支援を行っている民生児童委員は、日頃からの信頼関係のもとに、安否確認や相談相手、帰宅支援など重要な役割を担っていくことが期待されます。

研修会の中で、個人情報に留意しながら民生児童委員が把握している高齢者や障がい者などの情報を地域内で共

有すること、災害時、安否の確認や福祉避難所の提供などの迅速な対応につながるかと話合われています。

災害時のボランティアについて

近年、隣県の新潟県や石川県で大きな地震に見舞われ、心を痛めた方も多いかと思います。

大きな災害が起きた時、ボランティアの派遣などの支援は、現地の方にとっても大きな支えとなることでしょう。

今年七月十六日に発生した中越沖地震でも、県内・市内から専門ボランティアとして介護員が派遣されたり、**鶴岡市社会福祉協議会**でも義援金を募り

新潟県共同募金会を通して被災地へ送っています。また、一般ボランティアとして被災地で活動している方もいます。

鶴岡災害ボランティアネットワーク

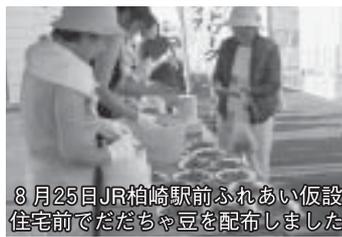
では、「だだちゃ豆で元気を贈ろう！プロジェクト」として、市内で募金を募り、だだちゃ豆を柏崎に届けています。届けられた豆には「この豆を食べると元気が出ます」「地震に負けず頑張ってください」など産地に近い鶴岡一中の生徒と大山児童館の子ども達も書いた励ましのメッセージを添えられました。

同ネットワークの**巖見昌孝**会長は

募金活動



8月18日山王ナイトバザールで募金活動を行いました



だだちゃ豆の配布

8月25日JR柏崎駅前ふれあい仮設住宅前でだだちゃ豆を配布しました

「茹で上がっただだちゃ豆は、現地のみなさんに『美味しい』と喜んでもらうことが出来ました。倒壊した家屋の片付けや建て直しなど、これからが大変のようです。今後も情報を得ながらできることをしていきたいです」と話してくれました。

被災地での活動は、もしも庄内で災害が起きた時に、活かされてくると思っています。

阪神淡路大震災では、救出活動の九五%が地域住民で、レスキューなどの専門職は一・七%の力によるものと報告されています。もしも災害が起きた時、町内会や民生児童委員、ボランティアなど様々な人の手助けが必要になります。普段から地域内で人とのつながりを大切に、助け合う関係性を築いていくことが、被害を減らす大きな力になるのではないのでしょうか。

「平成19年新潟県中越沖地震義援金」募集

1.受付期間 平成20年1月16日(水)まで

2.義援金受入れ

○振込みの場合 受入れ口座

金融機関	支店名	口座番号	口座名義
郵便局		00580-1-23	社会福祉法人 新潟県共同 募金会
第四銀行	白山支店	(普) 1590791	
北越銀行	県庁支店	(普) 254938	
大光銀行	新潟支店	(普) 3013634	

※郵便局窓口での振替手数料は無料になりますが、通信欄に「平成19年度新潟県中越沖地震」と記入ください。

※上記各金融機関本支店における窓口での振込手数料は無料になりますが、それ以外の各銀行からの振込みについては、有料扱いとなります。

○持参される場合 受付窓口

山形県共同募金会鶴岡市支会(鶴岡市社会福祉協議会内)または、各福祉センター窓口にて受付けております。

3.義援金の配分

新潟県が設置する義援金配分委員会で決定し、被災者に配分されます。

被災された方々への支援・援助を目的に義援金の募集を行います。

わくわく★ドキ 夏休みボランティア



中町お茶のみサロン スカットボール



だいぶ
うまく
なったの～



ここが1番
大事な部分だぞ!

難しい…

青色駐車場ペンキ塗り

七月二十三日(月)藤島小の三～六年生とお年寄り「中町お茶のみサロン」で、一緒にボーリングやスカットボール・輪投げをしました。初めのうち緊張していた子ども達も、おじいちゃん・おばあちゃんの積極的なアプローチに緊張もほぐれ、お互いに応援・笑い合いながら楽しみました。その後のお茶のみでは、手作りのしそ巻きを食べながら話に花が咲き、「初めてやったゲームだったけど、おばあちゃんが優しく教えてくれて嬉しかった。今度は、私が何かしてあげたい。」と話しをしてくれました。また、八月十六日(木)には、全脊連山形支部の小林光雄さんの指導のもと、藤島小の三・四年生が藤島老人福祉センターで身体障がい者用等駐車場(青色駐車場)作りに取り組み、見事な青色駐車場が完成しました。子ども達は、「大変だったけど楽しかった。絶対、車いすマークは忘れない!」と力強く語ってくれました。

サマーチャレンジ

各地域の福祉センターや福祉施設などで、利用者とのふれあいや行事のお手伝いなどの様々なボランティア体験をしました。

朝日夏休みボランティア体験 『プレゼント作り・在宅訪問』



みんなに会えて
とっても嬉しい

よろしく
お願いします

リースと
写真立て
使ってください

八月一日・八日(水)、朝日・大泉・大網小の一～六年生の参加者四十四名が、地域で一人暮らしをしているお年寄りの方へプレゼントをするため、写真立てとリースを作りました。出来上がったプレゼントを届けに行くと「よぐ来たの。みんなが来るの待ってたよ。」と笑顔で出迎えてくれました。スイカや特製の煮物をごちそうになりながらお話をしたり、皿洗いなどのお手伝いをしながら楽しい時間を過ごしました。参加した子ども達は、「私たちと話をしている時に、おばあさんがとても嬉しそうにしているのを見て、私も嬉しくなりました。私はいろいろな人の笑顔が好きなのでこれからもボランティアがあったら参加したいです。」と話してくれました。また、訪問を受けた方からは、「また来年も会えるように元気でいねばねの。」来年も素敵な再会を期待しています。

情報掲示板

鶴岡地区福祉バス利用申込み抽選会

今年11月～20年3月までの利用抽選会を行います。

- 日時 10月3日(水) 午前10時～
- 会場 鶴岡市老人福祉センター大広間
- 問合せ 鶴岡市社会福祉協議会まで

マリカ東館「まんまルーム」 相談日・講座のお知らせ

- 子供家庭相談 毎月第1月曜日、第2・4火曜日
- 子育て講座 各講座とも10時30分から30分程度

日程	テーマ	講師
9/28(金)	上の子、中の子、下の子	中央児童館 吉住和子館長
10/17(水)	ベビーマッサージ	健康運動指導士 佐藤しおり先生
11/30(金)	子どものだだこねとの付き合い方	南部保育園 丸藤睦子園長
12/21(金)	乳幼児の便秘	社会児童課 齋藤恵美児相相談士
1/25(金)	赤ちゃんに歌ってあげたい童謡	公立保育園 主任保育士
2/13(水)	ベビーマッサージ	健康運動指導士 佐藤しおり先生
3/14(金)	トイレトレーニング	支援センター 長谷川真弓先生

- 問合せ 鶴岡市つどいの広場(まんまルーム) ☎24-5635
まんまルームは同館で9月30日以降も引き続き開設します。

庄内まごころ手づくりフェスタ2007

庄内管内の通所事業所、授産施設などでつくられた作品を展示販売します。

- 日時 9月30日(日)午前10時～午後3時(小雨決行)
- 場所 庄内空港緑地公園「まつり広場」
- 問合せ 鶴岡市役所福祉課 ☎25-2111(内線137)

赤い羽根共同募金がスタートします 地域の福祉、みんなで参加

ボランティア活動や子ども達と高齢者との世代間の交流事業など、地域福祉活動を進めるために配分されます。今年も赤い羽根共同募金の主旨をご理解いただきまして、ご協力下さいますようお願いいたします。



募金運動期間: 10月1日(月)～12月31日(月) ***** 平成19年度共同募金による配分金事業の募集

- 対象者 社会福祉法人、公益法人又はこれらに準じた民間組織団体
※公費の補助、委託又は他の事業は対象外です
- 対象事業 平成20年度実施事業で、先駆的かつ多様な民間の社会福祉活動(活動の立ち上がり時期支援を含む)
※運営費、人件費、備品購入は対象外です
- 配分額 総事業費の4分の3の額(30万円上限)
- 申込締切 10月19日(金)まで
- 問合せ・申込み 山形県共同募金会鶴岡市支会 ☎24-0053



昨年は子供たちや障がい児者が乗馬を通して動物と触れ合う「庄内ポニースクール」が配分を受けました。

共同募金は地域福祉・ボランティア活動を応援します!

ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます。
(平成19年6月21日～平成19年8月20日までのご寄付を掲載いたしました)

★一般社会福祉事業へ ◎鶴岡福祉センター



宝昌院住職小池公雄さんの生活記録を綴った「話のアルバム」に感銘を受けた本市出身で東京にお住まいの方から、小池さんを通して善意のご寄付をいただきました。

- 夏の思い出(チャリティ)コンサート実行委員会様 30,000円
- (有)ハーバーコーポレーション(めん蔵)様 6,000円
- 加茂水産高校 鳥海丸メバチの会様 21,301円
- 平成カラオケ愛唱会様 70,000円
- 匿名 100,000円
- 匿名 20,000円
- ◎羽黒福祉センター
羽黒町カラオケ同好会様
(チャリティショーはぐろ芸能まつりより) 100,000円
- ◎温海福祉センター
本間男和一様 30,000円
- 田中益男様 50,000円

- ★鶴岡福祉センター内施設へ
鶴岡ホーム給食協同組合 理事長 笹原久治様
室内用グランドゴルフチームセット
匿名 未使用衣類100着
- ★高齢者福祉センターおおよまへ
大山フードセンター様 5,650円
- ★知的障害者通所授産施設もみじが丘へ
伊藤美代様 デニムバッグ
武久明雄様 花壇用花苗
トライアスロン実行委員会様 クッション用スポンジ
山戸車輛(株)様 10,000円
- 本間男和一様 30,000円

「夏祭り」
何年振りでしょうか、「てるてるぼうず」を作ろうと思ったのは、夏祭り当日の予報は台風直撃。おかげで空だけでなく利用者さんや関係者の顔色まで曇り気味です。ある利用者さんは「鶴岡さ台風こねって」と熱弁。少しでも晴れ間が見える、「(外で)でぎんなんねー?」の声が利用者さんだけでなく職員やボランティアさんからも聞こえてきます。雨天時は館内が会場ですが、皆様外でやりたい気持ち強いようです。結局大事を取り館内開催となりましたが、ほとんどの方は「外ででぎだのもの」と残念そうに言っていた事が印象に残っています。館内での夏祭りも大変な盛り上がりでしたが、それでもやはり外で行う夏祭りは特別なものなのでしょうね。参加者の皆様の心の中にも「てるてるぼうず」はいたのでしょうか? 来年天気になあれ。(一)



この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。